# 第94回全国民生委員児童委員大会（北海道大会） シンポジウム・活動交流集会一覧

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区分 | 名称／テーマ | 概要（要点＋事例） |
| シンポジウム | 地域における孤独・孤立に寄り添うセーフティネットと民生委員・児童委員 | 【要点】高齢化・単身化により「身寄りのない高齢者」が急増。孤立死や認知症増加に対応するには、早期発見と多機関連携の見守り体制が不可欠。 【事例】 ・札幌市厚別区＝棟長訪問やLINEで孤立防止 ・豊田市＝地域共生の行政部署 ・菊川市社協＝支え合いネットワーク ・NPOぷらっとほーむ＝権利擁護活動 |
| 活動交流会1 | 高齢者・障がい者が安心して暮らし続ける地域づくり（地域包括支援） | 【要点】高齢化や障がい者支援には包括的・協働的な地域支援が求められる。 【事例】 ・茅ヶ崎市＝独居高齢者見守りネット ・大和町＝知的障がい者と家族の交流活動 ・札幌市南区藤野＝警察との同行訪問 |
| 活動交流会2 | 子育ち、子育てを応援する地域づくり | 【要点】不登校やいじめ、家庭孤立の増加が課題。児童委員と主任児童委員の連携や学校・家庭センターとの協働が急務。 【事例】 ・青森市＝子育てサロンで孤立防止 ・南砺市＝三世代交流や行政との四者協議 ・旭川市＝小学生作文コンクールで委員の役割発信 |
| 活動交流会3 | 生活困窮者への支援と地域共生社会の実現 | 【要点】「支え手／受け手」の固定化を超え、誰もが役割を持つ共生社会をめざす。生活困窮者への包括的支援が不可欠。 【事例】 ・雫石町＝情報交換会で要支援者の状況共有 ・高松市香西地区＝カフェ型居場所で困窮者の社会参加促進 ・登別市＝応急生活支援事業を民児協で展開 |
| 活動交流会4 | 民生委員・児童委員活動の推進および民児協機能強化に向けて | 【要点】就労しながら活動する委員が増加。長期継続には環境整備や運営工夫、支援体制の構築が重要。 【事例】 ・大分市＝退任者を新任委員サポーターに活用 ・札幌市南円山地区＝LINEで情報共有を効率化 ・酒田市＝ICTで会議・研修をオンライン化 |
| 活動交流会5 | 次なる災害に備える民生委員・児童委員および民児協組織としての取り組み | 【要点】災害対応は平常時からの準備が鍵。要支援者名簿の整備や役割分担の明確化が重要。 【事例】 ・富岡町＝震災・原発避難の教訓をもとに災害公営住宅で支援継続 ・川崎市麻生区＝合同災害委員会で地域防災を推進 ・旭川市末広東地区＝災害福祉マップ作成と学習会で防災意識強化 |